

利根川だより3



第15回渡良瀬遊水地フォトコンテスト 最優秀賞 「春の夜を彩る」 中根 英治（埼玉県久喜市）

Contents

- 特集 : 渡良瀬遊水地の「干し上げ」
: 渡良瀬遊水地ヨシ焼きについてのお知らせ

第168号 150301発行

国土交通省 利根川上流河川事務所

TEL 0480-52-3952

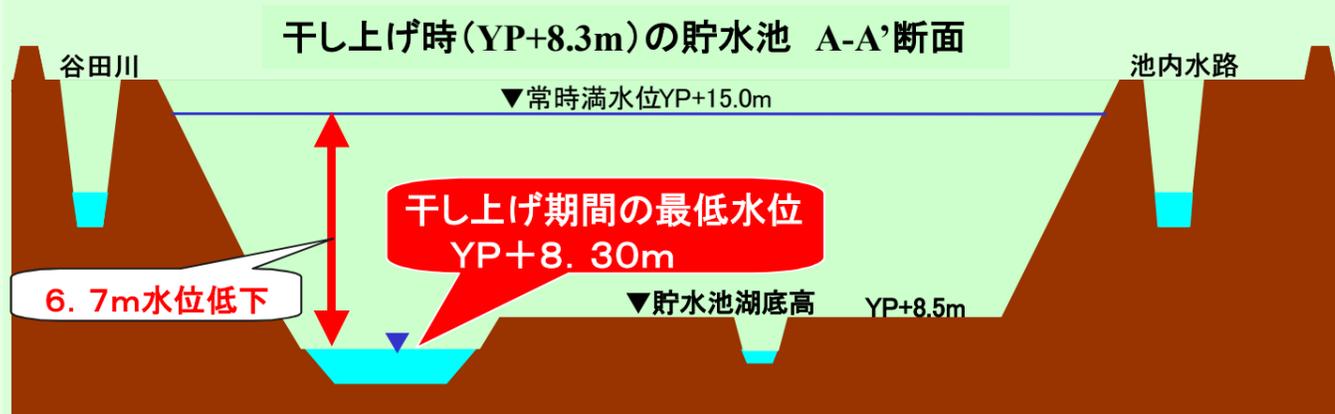
URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/>



当事務所では、利根川と縁の深い「静御前」を治水のイメージキャラクターとして位置付けています。

谷中湖(渡良瀬貯水池)におけるカビ臭の発生を抑制するため、『干し上げ』を実施しています！

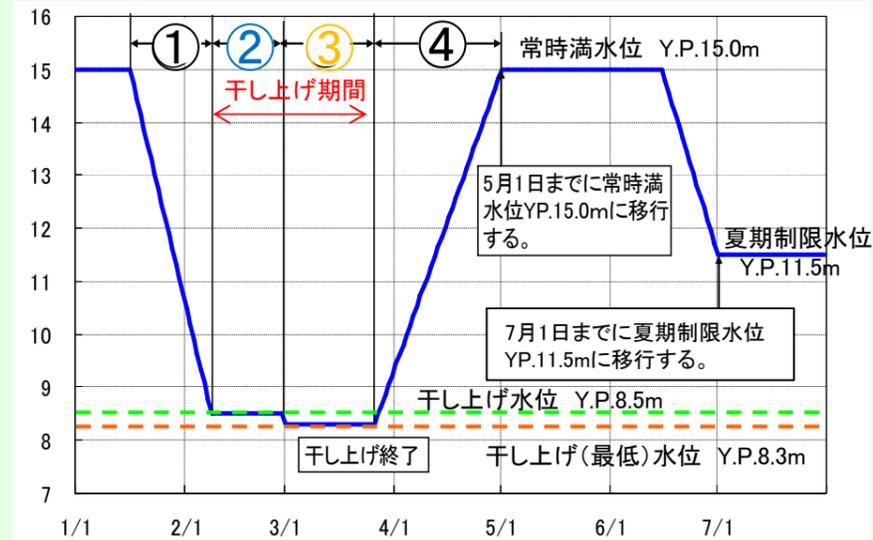
- ▶ 渡良瀬貯水池が完成した当初、貯水池からの放流水が原因と考えられるカビ臭が下流の浄水場で発生したため、水質保全対策の必要が生じました。
- ▶ 平成16年から貯水位を低下させる「干し上げ」操作を継続的にいき、夏場のカビ臭抑制に効果を発揮しているところです。
- ▶ 「干し上げ」とは、渡良瀬貯水池の水位を低下させ、湖底面を露出し、一定期間日光にさらすことによって、窒素・リンの溶出を抑制することにより、カビ臭の発生原因である植物プランクトン(フォルミディウム)を減少させ、カビ臭を抑制するための対策です。



▶ 谷中湖(渡良瀬貯水池)を干し上げても、水面を約20%程度残すことにより、魚類・鳥類の生息に配慮しております。また、合わせて干し上げの影響調査も行っています。

●干し上げのスケジュール

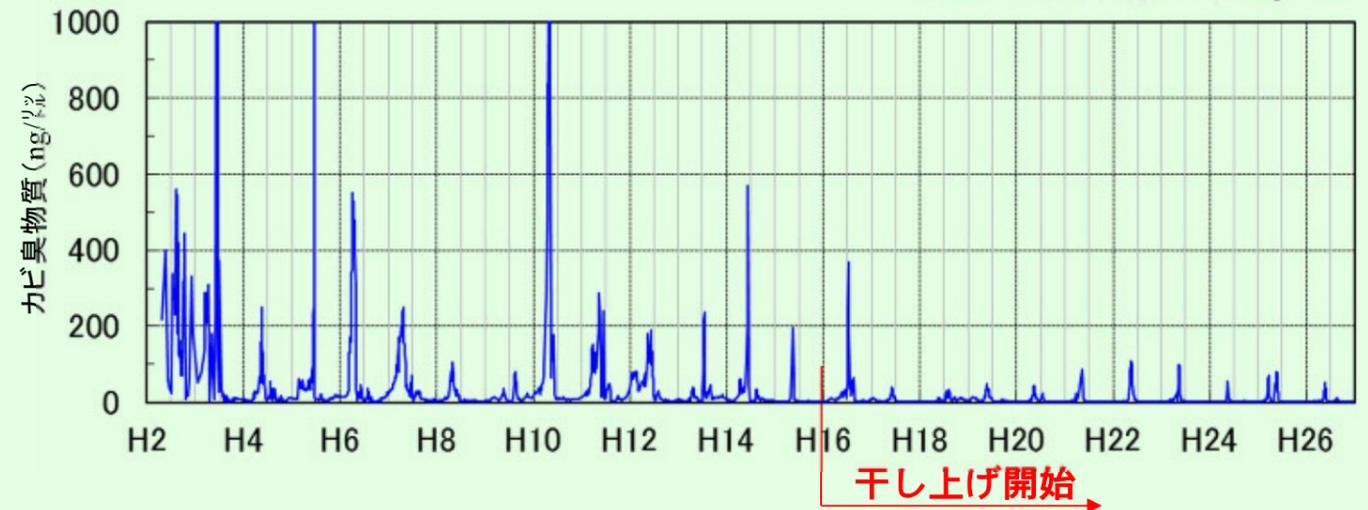
干し上げは例年、下記のスケジュールで実施しています。



- ①水位低下期(1月上旬～2月上旬) 鳥類・魚類への影響を少なくするために、急激な水位低下に注意しながら、常時満水位(YP.15.0m)から最低水位(YP.8.5m)に移行する。
- ②干し上げ期(2月上旬～3月上旬) 鳥類(水鳥)への影響を考慮して、この期間は、干し上げ水位(YP.8.5m)を維持する。
- ③干し上げ期(3月上旬～3月下旬) 干し上げ(最低)水位(YP.8.3m)を維持し、貯水池底泥を干し上げる。
- ④水位回復期(3月下旬～5月1日) 干し上げ水位(YP.8.3m)から水位を回復させ、常時満水位(YP.15.0m)に移行する。

●渡良瀬貯水池のカビ臭の発生状況

(単位：カビ臭物質[2-MIB]：ng/%)



- ▶ 平成11年以降、ヨシ原浄化施設などの水質保全対策を行い、さらに、平成16年からの干し上げを継続することで、総合的な水質保全対策を行った結果、カビ臭の抑制に効果を発揮しています。
- ▶ また、干し上げを行うためには、貯水池からの放流が必要となりますが、無駄な放流にならないよう、上流ダム群と連携した総合的な水運用の中で行っています。
- ▶ 干し上げの期間は、2月上旬から3月下旬までの約1ヶ月半の間を予定しています。例年、3月25日頃から取水(貯留)を始め、水需要が増大する5月に向けて、4月末までに貯水量の回復(満水)を目指しています。

谷中湖のご利用の皆様にはご迷惑をおかけ致しますが、「干し上げ」の必要性をご理解の上、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

また、干し上げ期間中は大変危険ですので、湖底面付近には絶対に近づかないでください。

